

平成 30 年 11 月 13 日
リサイクル燃料貯蔵株式会社

リサイクル燃料備蓄センターの現在の状況について

1. 新規制基準適合性審査の状況について

これまでの主な審査項目の進捗状況は、下表のとおりです。

津波評価に関して、4月26日の審査会合において継続審議とされた、「水深係数の設定の妥当性」について、9月21日の審査会合で審議を受けました。その結果、当社からの回答・説明に対して、追加の補足説明の指摘（解析に用いているパラメータの考え方や妥当性の整理）がなされ、引き続き審議していくこととなりました。

地震等関係に関しては、9月14日に取りまとめの審査会合として、「これまでの審査内容をまとめた資料」と「火山関係の指摘事項への回答」について審議が行われました。その結果、地質・地質構造や基準地震動の策定等をまとめた資料については、妥当な検討が行われたものと評価されましたが、火山影響評価については、追加の指摘（恐山の活動に関する説明の充実）がなされ、引き続き審議していくこととなりました。

審査区分	これまでに確認された項目	今後の確認項目
施設関係	<ul style="list-style-type: none"> ○設計基準関係（「基本的安全機能【臨界防止、遮蔽、閉じ込め、除熱】」「損傷の防止【火災、竜巻等】等」） ○耐震設計の基本方針 ○津波評価方針のうち、津波防護方針等（漂流物による影響、浸水による影響、浸水対策） 	<ul style="list-style-type: none"> ○津波評価方針のうち、津波防護方針等（4/26, 9/21）の審査会合での指摘事項「水圧による荷重の考え方、水圧による影響」への回答
地震等関係	<ul style="list-style-type: none"> ○火山影響評価 ○地質・地質構造 ○地震動、基準地震動、基準地震動の年超過確率、基礎地盤及び周辺斜面の安定性評価 ○津波評価方針のうち、仮想的大規模津波の策定 	<ul style="list-style-type: none"> ○今後、取りまとめ審査会合（9/14）での指摘事項（火山関係）への回答

リサイクル燃料貯蔵（株）ホームページ：<http://www.rfSCO.co.jp/>

以上